

地域振興

ふたくち

第42号

令和3年1月1日
嘉久彦 裕
佐伯 俊彦
三川 木倉
発行責任者
事務局



年頭のご挨拶

ふたくち地域振興会
会長 三川俊彦



新年あけましておめでとうございます。新年をお迎えの皆さまには健やかに、ご家族お揃いで新年を迎えることと心からお慶び申し上げます。平素より地域振興会の運営に對しまして、深いご理解と多大なるご協力を賜っていますことに、心から厚くお礼申し上げます。

昨年、積雪もなく暖かい幕開けとなりましたが、令和元年末から危惧されていきました新型コロナウイルス感染症が春になり拡大、学校等の休校(休業)などの感染症対策により終息すると思われましたが、世界的に感染が拡大し、楽しみにしていた東京オリンピックも一年延期となりました。各種催事も開催出来ず、今だコロナ禍がますます拡大傾向にある状況です。ワクチン接種も早く実施され、通常の生活が戻るよう願うものです。

さて、令和二年度においては、地域振興会の多くの皆さまに参集いただき行事は縮小もしくは中止となり、このような事態は想像も出来ないこととなり、従って、本年もどの様に推移するか見守る状況が続くことは推測されます。各種事業を模索しながら進めることは、地域で考え、人材発掘も積極的に課題を山積みして考え、また、人材発掘も精力を削ぎ、安全で安心して暮らせる地域づくりの大切さを思い、地域活動にご理解・ご協力をいただき、積極的に参加をお願いいたします。

新年あけましておめでとうございます。新年をお迎えの皆さまには健やかに、ご家族お揃いで新年を迎えることと心からお慶び申し上げます。平素より地域振興会の運営に對しまして、深いご理解と多大なるご協力を賜っていますことに、心から厚くお礼申し上げます。

ふたくち文化祭 作品展示会



令和2年度開催予定の「第10回ふたくち文化祭」は、一向に収まらない新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、例年のように開催することが出来ませんでした。そんな中、地域の皆さまが毎年この文化祭に向け丹精込めて作られた素晴らしい作品が数多くありました。せめてその作品だけでも是非ご覧頂きたいと考え、去る11月8日(日)～14日(土)までの一週間ではありましたが、今回は『作品展示会』のみを開催させて頂きました。来館者の皆様には「展示場所が一ヶ所だし、ゆっくり鑑賞出来て良かった」など大変ご好評で、期間中の来場人数も200名を超えるほどの人気振りとなりました。裏面には展示作品の一部ではありますが、ご紹介いたします。

なお、「第15回敬老会」においては既に終了していますが、それぞれの自治会で開催されました。



二口自治会の12畳もある大凧。今年は、コロナの問題で大空に舞うことが出来ませんでした。残念・・・！



書の数々。正橋白鷺先生をはじめ、書道家の皆さんが腕を振るわれた作品を軸にされました。さすがです・・・



児童育成事業の親子体験教室で「富山ガラス工房」へ出向き、吹きガラスを体験し制作した可愛いマイグラスです。



人気漫画『鬼滅の刃』の主人公になりきって写真を撮ることが出来た、フォトコーナーもありました。



一ミリの狂いも無く、慎重に切って仕上げた美しい「アイリス」と「薔薇」の切り絵。お見事です！！



活発に活動が続けられる「手芸の会」の皆さんが作られた、手提げバッグとタペストリー。職人技ですね・・・



二口地区長寿会女性部の高齢者学級に参加した皆さんが作った『フラワーリース時計』。チックタック時を刻む・・・



過去10年間のお天気(お天気模様と気温が中心)を分かり易く記録された。・・・稲垣一郎さん(大門本江)